

2012 Ene-1 GP SUZUKA [2012年8月5日(日)開催]

動力は充電式エボルタ(単3形)40本 次世代エネルギーカーで未来のエンジニアたちが難コース鈴鹿に挑む!

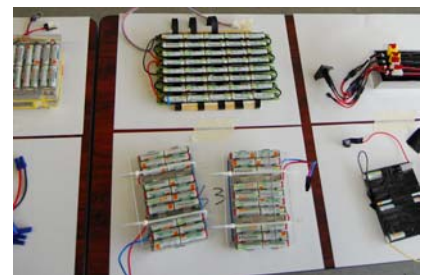


※写真はイメージです

大盛況! 77チームがエントリーのKV-40チャレンジ 新設中学生クラスにも長野県、地元三重県からエントリー!

昨年8月に鈴鹿サーキット国際レーシングコースを舞台に初めて開催された Ene-1 GP SUZUKAのKV-40チャレンジ。充電式単三電池を使用するもので、優れた性能を発揮するPanasonic充電式EVOLTA 40本を動力源にコースを走ります。高校生チーム、大学・専門学校チーム、一般チームなど全国から数多くの参加があり、各クラスでエネルギーマネージメントを競う戦いが繰り広げられました。

今年はタイムアタックが昨年のコース2周から3周に増やされ、同時により参加しやすいように車両規定、競技内容の見直しが行われました。その結果、2年目となる今年は、全国から続々エントリーが届き、今年新設された中学生を対象としたクラスにも長野県、三重県からエントリーがあり、より若い世代からのチャレンジが見られます。7月5日時点でのエントリーは各クラス合わせて、昨年の参加台数53台を上回る77台にも達し、昨年以上の激しい競技が繰り広げられることになりました。



動力源はPanasonic充電式EVOLTA 40本

YouTubeで2011年の様子をご覧ください

動画共有サイトYouTube(<http://youtube.com/>)でEne-1 GP SUZUKA 2011の様子をご覧ください。キーワード「Ene-1 GP」で検索してください。

コース3周のタイムアタック

エネルギーマネージメントに加え、鈴鹿サーキットを走る強い車体作りが必要

KV-40チャレンジは若者がクルマに親しみ、ものづくりの楽しさを体験し、エネルギーを考える場を提供するもので、2回目となる今年は大きくKV-1(車重制限なし)とKV-2(車重35kg以上=ドライバー重量はともに55kg以上)の2つのクラスがあり、それぞれa(一般)、b(大学・高専・専門学校)、c(高等学校)、d(中学生=KV-2のみ)の各部門に分けられて競技が行われます。

競技は1周のタイムアタック。インターバルを置いて合計3周し、そのタイム合算と走行距離で争われるもの。この間電池への充電は禁止されるため、いかに効率よく電池パワーを配分するか、また平坦な直線道路を走るのではなく、アップダウンがあり、急カーブありの鈴鹿サーキット国際レーシングコースをいかに攻略するかも重要で、エネルギーマネージメントに加えて、強い車体製作も求められることとなります。



ピットで出走前の最終調整をする各チーム(2011年の様子)

■クラス分け

	KV-1	KV-2
車両重量制限	車両重量制限なし	車両重量35kg以上
ドライバー重量制限	55kg以上(装備品含む)	55kg以上(装備品含む)
クラス分け	a 一般 b 大学・高専・専門学校 c 高等学校	a 一般 b 大学・高専・専門学校 c 高等学校 d 中学生

■競技内容 鈴鹿サーキット国際レーシングコース(5.807km)1周×3回のタイム計測

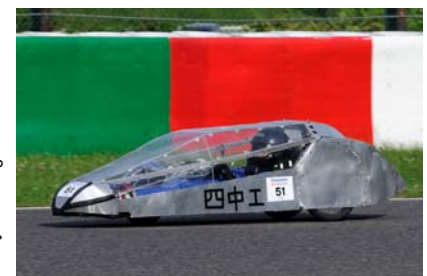
8月の鈴鹿はもうひとつの甲子園！

昨年好成績の高校生チームが今年もエントリー。新たな参戦チームとの対決に注目！

中学生チームの活躍にも注目！！

初開催となった昨年、車重35kg以上の高等学校クラスでは地元三重県のチーム四中工(四日市中央工業高等学校)と長野県の飯田工業高校Bチームが接戦を展開し、四中工が合計タイム19分42秒055(1stアタック9分27秒757。2ndアタック10分14秒298)で優勝。この2校は今年もKV-2cにエントリー。さらに昨年上位に入った伊勢工業高校チームなどもエントリーしており、地元三重県、奈良県、大阪府、愛知県、長野県を中心に15チームが参戦予定。高校生の夏と言えはすぐに高校野球の甲子園が浮かびますが、鈴鹿もエネルギーの未来を考えた、高校生たちの「ものづくり甲子園」となっています。

また昨年の車重制限なしのクラスで大学などの強カチーム相手に上位に食い込んだ飯田工業高校Aチーム、宇都宮工業高校チームもKV-1cにエントリー。この部門は富山県(富山工業高校)、高知県(高知県立高知東工業高等学校)、宮崎県(宮崎工業高校)など全国からエントリーがあり、KV-2c同様に接戦が予想されています。さらに中学生クラスも地元三重県の久居中学技術部チーム、附属長野中学校技術研究班チーム(信州大学教育学部附属長野中学校)が参加予定で、どんな活躍を披露してくれるか楽しみです。



2011年の車重35kg以上のクラスで優勝したチーム四中工



2011年の車重35kg以上のクラス準優勝の飯田工業高校B

エントリーリスト

2012年7月10日(火)現在

KV-1クラス			KV-2クラス		
クラス	チーム名	都道府県	クラス	チーム名	都道府県
KV-1 a	Team "K" Project EV	愛知県	KV-1 c	紀北工業高校 生産技術部 A	和歌山県
KV-1 a	四十雀	神奈川県	KV-1 c	紀北工業高校 生産技術部 B	和歌山県
KV-1 a	アヒルエコパレーシング 東郷	愛知県	KV-1 c	紀北工業高校 生産技術部 C	和歌山県
KV-1 a	OSUTechnicalSession	奈良県	KV-1 c	福岡市立博多工業高等学校 博工A	福岡県
KV-1 a	チーム 48	神奈川県	KV-1 c	三重県立桑名工業高等学校	三重県
KV-1 a	ちーむSBR	愛知県	KV-1 c	福岡市立博多工業高等学校 博工B	福岡県
KV-1 a	#ちーむ悪い人 + 近大EV	大阪府			
KV-1 a	MTB67	群馬県			
KV-1 a	チーム"ヨイショット!"ミツバ	群馬県			
KV-1 a	金匠+プリン	愛知県			
KV-1 a	ダイハツ工業(株) & 大阪府立西野田工科高	大阪府			
KV-1 a	ZerotoDarwin Project	東京都			
KV-1 b	日本文理大学工学部機械電気工学科	大分県			
KV-1 b	大阪産業大学 新エネルギービークルPJ	奈良県			
KV-1 b	Team 大阪工業技術専門学校	奈良県			
KV-1 b	AITChallengeProject	愛知県			
KV-1 b	産業技術短大 CIT-Project 1	兵庫県			
KV-1 b	中日本自動車短期大学	岐阜県			
KV-1 b	Team 大阪工業技術専門学校 ぱーと2	奈良県			
KV-1 b	鈴鹿高専エコープロジェクト	三重県			
KV-1 b	とよこうWorks	愛知県			
KV-1 c	静岡県立浜松城北工業高校	静岡県			
KV-1 c	富山工業高等学校	富山県			
KV-1 c	高知県立高知東工業高等学校自動車工作部α	高知県			
KV-1 c	高知県立高知東工業高等学校自動車工作部β	高知県			
KV-1 c	宇都宮工業高校 科学技術研究部	栃木県			
KV-1 c	愛知工業高等学校 化学工業科	愛知県			
KV-1 c	市立関商工高等学校	岐阜県			
KV-1 c	市立関商工高等学校 2	岐阜県			
KV-1 c	team miyakou(宮崎工業高校)	宮崎県			
KV-1 c	大阪市立生野工業高等学校 機械工作部	奈良県			
KV-1 c	飯田工業高校A	長野県			
KV-1 c	岐阜第一高等学校	岐阜県			
KV-1 c	大阪府立佐野工科高等学校	大阪府			
KV-1 c	大阪府立茨木工科高等学校機械研究部	大阪府			
KV-1 c	三重県立伊賀白鳳高校 未来Factory	三重県			
KV-1 c	愛知県立豊橋工業高等学校 機械部	愛知県			
KV-1 c	松阪工業高校機械研究クラブ	三重県			
KV-1 c	呉港高等学校	広島県			
KV-1 c	刈谷工業高校	愛知県			
KV-1 c	大阪府立西野田工科高等学校 機械研究部	兵庫県			

都道府県・クラス別エントリー状況

クラス	栃木	群馬	東京	神奈川	富山	石川	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	大阪	兵庫	奈良	和歌山	島根	広島	高知	福岡	大分	宮崎	合計	
KV-1a		2	1	2						4	2		1										12
KV-2a							1		1	5	2												9
KV-1b								1		2	1		1	3							1		9
KV-2b					1		1					1				1							4
KV-1c	1				1		1	3	1	3	3	2	1	1	3		1	2	2			1	26
KV-2c	1					1	2			2	4	2	1	2									15
KV-2d							1				1												2
合計	2	2	1	2	2	1	6	4	2	16	9	9	3	7	3	1	1	2	2	1	1	1	77

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

EVパフォーマンスチャレンジも開催！

高校生以上の参加者を対象にしたEVパフォーマンスチャレンジはバッテリーとモーターを動力源とした軽自動車以上の車両で、東コースの走行タイムを競う0-S字タイムアタック、60分走行の耐久競技(ピットイン3回)が行われます。さらには市販されているEV、電気自動車のクラスも新たに設けられ、より身近にエネルギー管理を楽しむ事ができる競技となりました。

タイムアタックを終えた車両はバッテリー充電を行うことなく耐久レースに進み、加えてポイントが耐久レース重視となっているために、タイムアタックが速くても耐久で止まってしまうと上位進出は難しくなります。トータルで走り切れるようにエネルギー配分を考えてのスムーズな走行が要求されます。

■クラス分け

	ストッククラス	市販車クラス
車両	軽自動車以上の市販車両	市販電気自動車
クラス分け	リチウムイオンバッテリー部門 鉛電池部門	なし

■競技内容

【0-S字アタック】鈴鹿サーキット国際レーシングコース、メインストレート～S字(約1km)

【60分ロングディスタンス】鈴鹿サーキット国際レーシングコース60分間走行(ピットイン3回義務)



2011年の60分ロングディスタンススタートシーン



2011年のタイムアタック(S字)の様子

2012 Ene-1 GP SUZUKAは、ゆうえんち入園料でご覧いただけます

料金(ゆうえんち入園料)		
大人(中学生以上)	小学生	3歳～未就学児
1,600円	800円	600円

Ene-1 GP開催概要

■大会名称：2012 Ene-1 GP SUZUKA

■開催日：2012年8月5日(日)

■開催種目：KV-40チャレンジ全国大会

EVパフォーマンスチャレンジ全国大会

■開催会場：鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(フルコース5.807km)

■大会主催：株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット

■オフィシャルパートナー：パナソニック株式会社 / 株式会社ミツバ / 大正製薬株式会社 / 株式会社第三銀行 / 株式会社三重銀行 / Honda Cars 三重北 / 住友電装株式会社 / 株式会社長谷川建築

■後援：経済産業省 / 文部科学省 / 観光庁 / 三重県 / 鈴鹿市 / 三重県教育委員会 / 公益社団法人 全国工業高等学校長協会 / 一般社団法人 中部経済連合会 / 日本EVクラブ / 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会 / 一般社団法人 鈴鹿市観光協会 / 鈴鹿商工会議所

Ene-1GPの様様をUSTREAMで生中継！

Ene-1GPの様様をイベント開始から表彰式まで、USTREAMで生中継いたします。鈴鹿サーキット国際レーシングコース(5.807km)の中に設置されている39台のコースカメラと、コースのすぐ横にある激感エリアに設置したカメラ(KV-40のみ)、そしてサーキットビジョンの映像と共にアナウンサーの実況を一度に体感いただけます。

アップダウンの激しい鈴鹿の難コースを攻略するため、エネルギー管理を行うドライバーの勇姿と車両の特徴を様々な角度からご覧頂き、Ene-1GPの魅力をご堪能いただけます。

当日のUSTREAM中継は2012 Ene-1GP SUZUKA公式ホームページよりご覧ください。

〈2012 Ene-1GP SUZUKA公式ホームページURL〉 http://www.suzukacircuit.jp/ene1gp_s/



2011年のUSTREAM中継の様子